

教育目標 学校像 児童像		「自ら考え 思いやりの心もち たくましく生きる児童の育成」 ○静かな学校 ○伸びゆく学校 ○明るい学校 ○考える子 ○やさしい子 ○たくましい子				
経営ビジョン		◎なりたい自分とみんなのために 「前進」「考動」寺小っ子				
目 標		手段・ゴールイメージ	学校の自己評価(成果・課題)	自己 評価	委員 評価	学校運営協議会委員評価
重点 目標 1	確かな学力 の向上	1 「分かる・できる」授業の実践 2対話とICT活用を図った授業改善 3特別活動、総合的な学習の時間の充実 4読書活動の推進と表現力の育成 5カリキュラムマネジメントの推進	○「分かる・できる」授業の実践については、児童も保護者も90%以上の肯定的な回答であった。 ○ICT活用については、「タブドリ Live」を中心に積極的な活用が図られた。 ●数値的にみると他の項目より低いのが「分かる・できる」授業づくりであり、特に教職員の数値が低かったため、次年度に向けて改善を図る必要がある。 ●読み聞かせや図書室の環境整備など、読書活動につながる取組を充実させてきた。一方でメディアコントロールデーに取り組んだ際、空いた時間が読書活動につながらないなど課題もある。	3	3. 2	○児童も保護者も肯定的な評価をいただいているのだから、何事ももっと自信をもっていただきたいと強く思います。 ○学力が向上しているかは、保護者でないとわかりません。しかし、アンケートでは、子どもたちも保護者も「先生方がよくしてくれる」となっている、今のままで十分だと思います。 ○児童も保護者も90%以上の肯定的な回答という事が一番です。先生方も一生懸命取り組んでおられる様子がうかがえます。改善点があるという事は、大事なことです、よろしくお願ひします。 ○今の時代メディアコントロールが一番の課題だと思います。楽しいことをいかに上手に利用して、ストレスなく学力の向上に保護者も一緒に取り組んでいきたいです。
重点 目標 2	豊かな心 の育成	1規範意識と思いやりの心の醸成 2あいさつ、廊下歩行、無言の場の設定 3互いの良さを認め合える温かな集団づくり(いじめ・不登校0を目指して) 4子どもに任せる、考えさせる、学校風土づくり 5命を大切にする教育の推進	○悩みアンケートを毎月実施するとともに、アンケート後にハートフルタイム等児童の悩みを聞く場を設定した。 ○命を大切にする週間や避難訓練など様々な場面で、命の大切さを児童に伝えることができた。 ●あいさつ・返事・整理整頓については、児童からは肯定的な回答が多かったが、保護者・教職員の回答と比較すると数値に開きがある。児童の自己評価と実態に違いがあるため、さらに改善する必要がある。 ●いじめ・不登校に関して「あてはまらない」と回答する保護者もいることから、職員は「いじめを絶対に許さない」という毅然とした態度を児童や保護者に示すとともに、児童、保護者がさらに相談しやすいように工夫する必要がある。	3	3. 2	○あいさつについてですが、児童と保護者、職員間で回答の数値に開きがあるようですが、少なくとも登校の時間帯で交わすあいさつでは、声の大小はあるものの、黙って素通りする児童はいないです。 ○児童の少ない学校のよさをとても感じます。あいさつは、学校内でそれ違った際、一人ひとりの子ども達の優しい笑み、声に温かさを感じます。 ○やはりあいさつがコミュニケーションの基本なので、根気強く取り組んでいただきたいです。 ○「豊かな心の育成」については、学校だけの問題ではないと思います。家族はもちろん、友達、地域の方々とのふれあい、そして、小さい時からいろいろな体験をすることにより優しい心、思いやりの心が育つと思います。本当にあったことをよく理解させる努力を、親や教育者である先生方にもどうやったら子ども達が豊かに育つのか、考えながら子どもと共に頑張っていたいただきたいです。

<p>重点目標 3</p>	<p>たくましい体の育成</p>	<p>1外遊びの習慣化・望ましい食生活と生活リズムの定着 2避難訓練の工夫と充実 3スポーツテストの課題克服 4むし歯治療率100% 5メディアコントロールの推進</p>	<p>○生活リズムや運動習慣に関しては、昨年同様、児童や保護者から肯定的な回答がほとんどであった。昼休みはほとんどの児童が運動場で元気よく過ごすなど、外遊びも習慣化している。 ○メディアコントロールについても美々津中学校区で年4回取り組むことができた。アンケートの結果からも実態改善につながっていると考えられる。 ○避難訓練も不審者・地震・風水害・火事など様々な災害を想定して実施することができた。次年度は、美々津中学校区合同で避難訓練を実施する予定である。 ●歯の治療が終わっていない児童もおり、今後も呼びかけが必要である。</p>	<p>3</p>	<p>3. 2</p>	<p>○コロナやインフルエンザの感染や環境の変化によって外遊び等が制限されていた時期がようやく解除されてきた状態だと思われます。思い切り走り回る子ども達を見られるようになって嬉しいです。 ○まずは、家庭での食事だと思います。小さい頃からぜいたくではなく、食べられるものを愛情込めて作ってあげる事、そして、それを感謝していただく事、これは、子どもばかりでなく大人がよい見本をする事、食育をもっと大切にする事、そして、体を動かすことで体力がついてくるので、動ける楽しさを子どもたちにもっと感じさせられると良いと思います。 ○この項目は、保護者と子供が一体になるととても良い結果になると思います。それに先生方の協力が必要だと感じます。大変な部分ですが先生方もよろしく願います。 ○休休みにほとんどの児童が外で遊んでいるとのことなので、習慣化できて素晴らしいと思います。</p>
<p>重点目標 4</p>	<p>地域との連携</p>	<p>1コミュニティスクールの推進 2キャリア教育の充実 3地域素材を生かした教育活動の充実 4幼保小連携、小中一貫教育の充実</p>	<p>○PTA 活動については運営委員を中心に積極的に取り組んでくださったため、昨年度以上に保護者からの肯定的な回答が多かった。 ○地域コーディネーターをはじめ様々な地域の方々の協力により、地域とのふれあい交流を充実させることができた。その結果、児童に豊かな体験を提供することができた。 ○今年度高松保育園と連携し、保育参観及び合同研修を実施することができた。また、昨年度同様、美々津中学校区小中一貫教育研究協議会を3度開催し、それぞれの学校の授業の様子を参観するとともに、小中一貫教育の推進のために協議を重ねてきた。 ●キャリア教育支援センターと連携して、日向市が推進する「よのなか先生」の授業を6年生で実施することができた。児童のキャリア発達を促すためにも今後もキャリア教育を充実させたい。</p>	<p>3</p>	<p>3. 2</p>	<p>○地域との連携で読み聞かせに行かせてもらっていますが、毎月の楽しみにもなっています。普段はそれほど読書をする事はないのですが、子どもの前に座って読んでいると、子どもたちが熱心に聞いてくれるので、その時間が私にはよい刺激となっていてありがたいです。保護者の方も、もっと参加していただくといいなあと思います。 ○PTA 活動についても、学校運営についても、地域コーディネーターを含め、うまく連携しているようで素晴らしいと思います。 ○内容一つ一つに先生方のご苦勞を感じます。児童数の少ない学校ならではの先生方の細かな援助や配慮に、保護者も今以上に我が子と向き合っていく必要があります。 ○PTA 役員さんのおかげで滝登りなど新しい体験ができて感謝しております。</p>